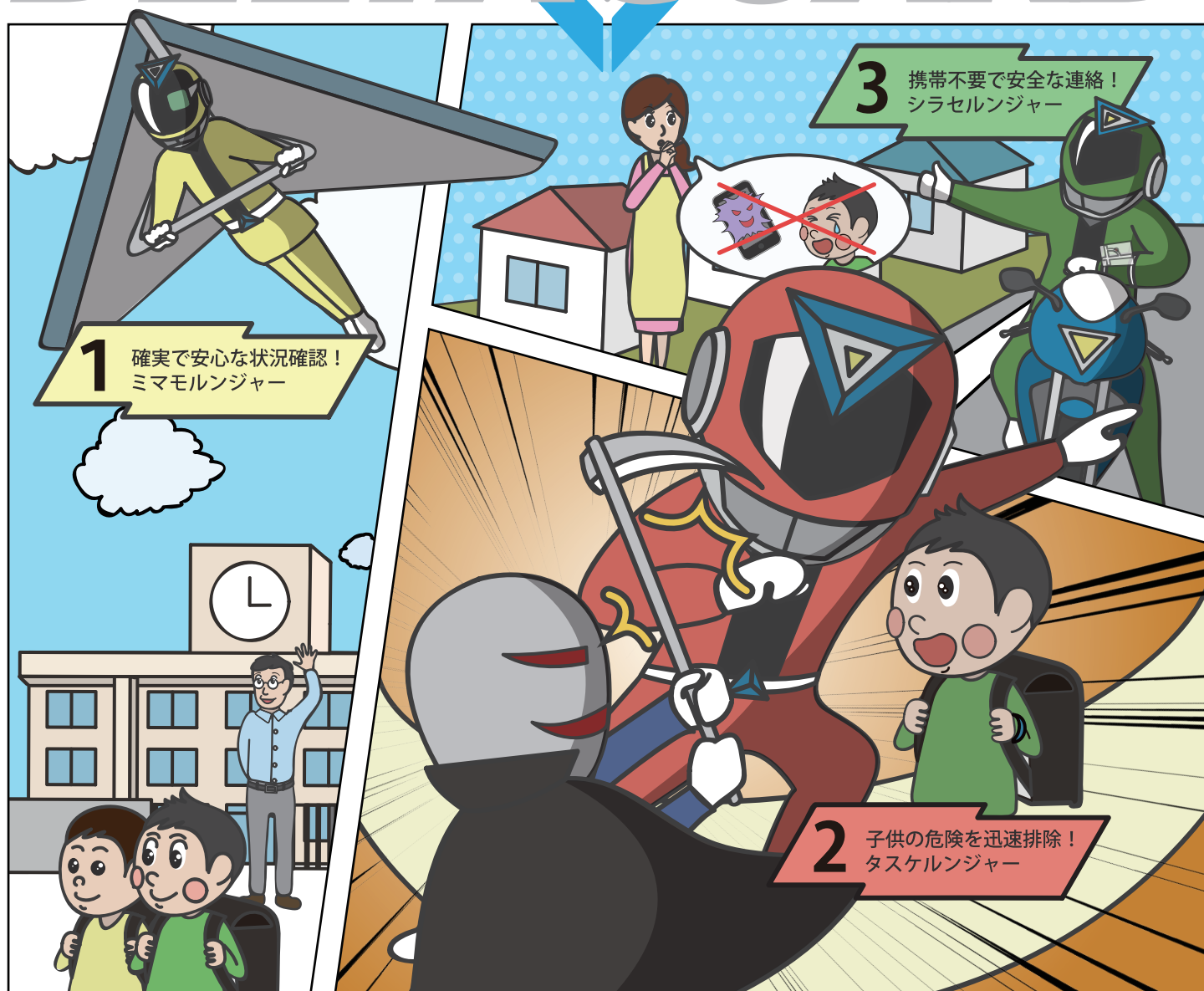


児童防衛戦隊

DELTA GUARD



1

コンセプト

親と先生に子どもの居場所と安心を届けよう

DELTA GUARD は、危険から子どもたちを守り、親と先生に安心を届けるシステムです。学校に通う子どもたちは、誘拐や事故など常に危険と隣り合わせです。事件に巻き込まれる子どもは後を絶たず、親や先生がどのように子どもたちを守るべきか課題となっています。このシステムは、学校の名札から子どもの情報を読み取り、親と先生に居場所や危険を知らせます。親と先生の両者が協力し合い、3者の強いつながりを生み出すことで、子どもの危険を早急に察知することができます。子どもたちが安心して走り回り、大人はいつも見守っていただける。それを可能にするのが DELTA GUARD です。

1

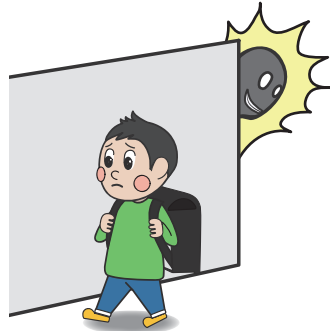
親の先生や学校教育
に対する不信感



先生の多忙化により、先生と親のコミュニケーション不足を招いています。

2

危険にさらされる
子どもたち



毎年、何万件もの子どもをめぐる犯罪被害が報告されています。

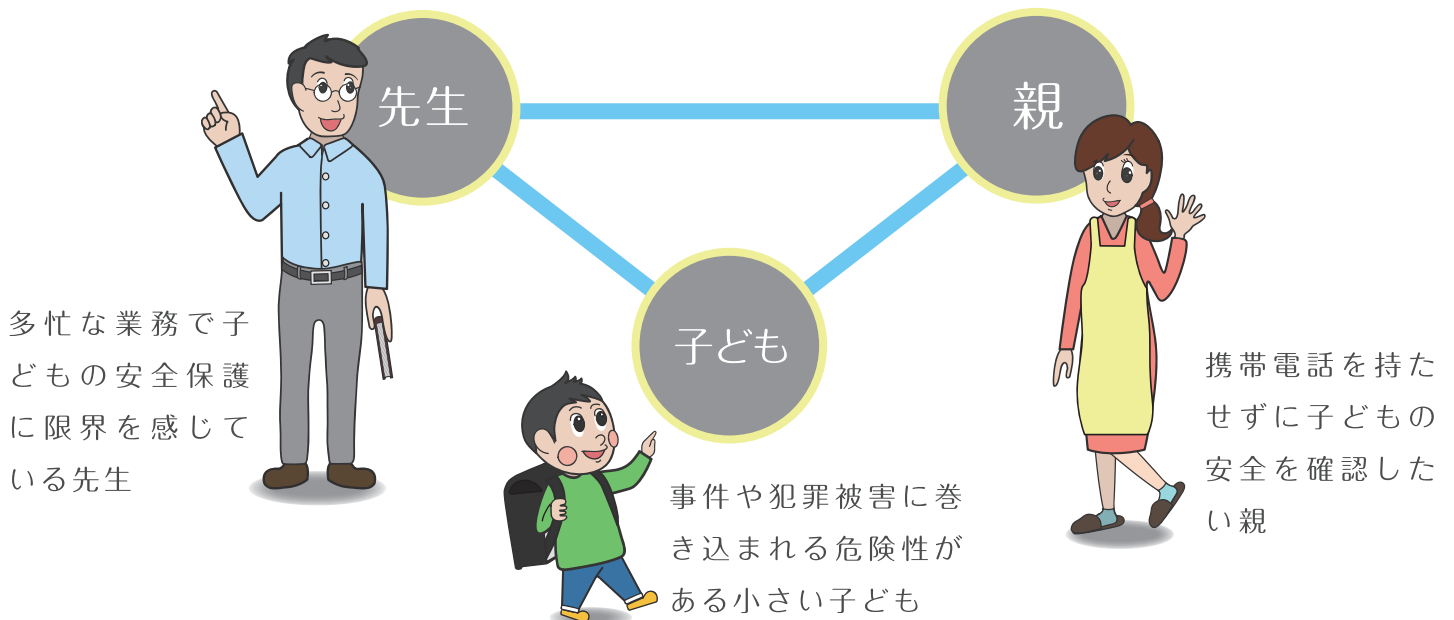
3

携帯電話からの有
害な情報



小さい子どもに携帯電話を持たせることは、トラブルを引き起こします。

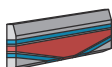
親・子ども・先生の三人



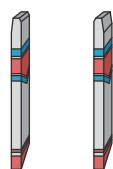
ICタグを持ち歩く

ICタグとGPSが取り付けられたアームバンドを手首につけ、登下校します。

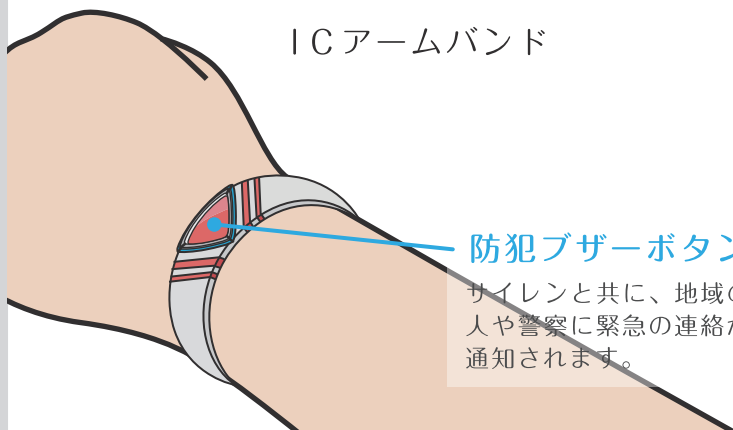
取付型



設置型



ICアームバンド



防犯ブザーボタン

サイレンと共に、地域の
人や警察に緊急の連絡が
通知されます。

ICリーダーで読み取り

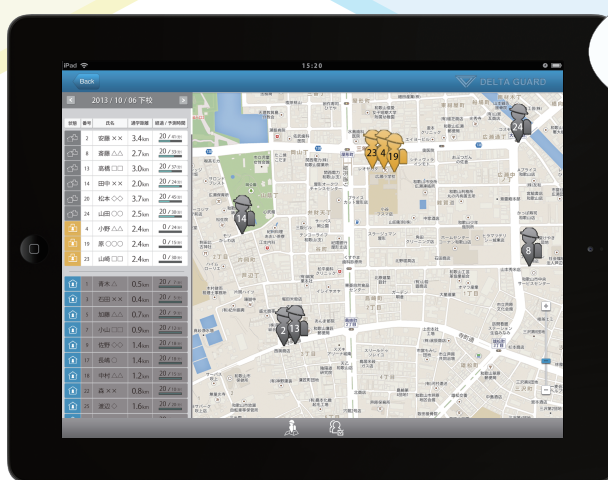
学校の校門や机、街の各ポイントに設置します。位置を知るとともにタグの情報を読み取り、サーバーに送信します。



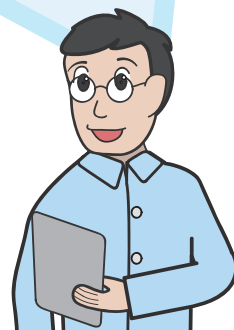
各端末で居場所や危険を確認

サーバーの情報を受け取り、子どもの情報や危険場所への接近を表示します。

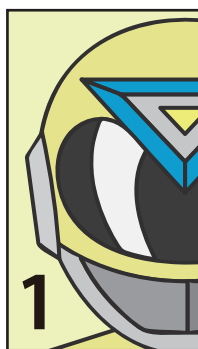
子どもの位置が
分かって安心だわ！



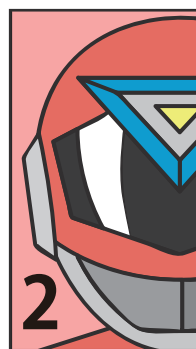
みんな安全に
下校してるかな？



子どもの命を見守る 3つの機能！



状況確認
ミマモルンジャー



危険通知
タスケルンジャー



連絡機能
シラセルンジャー

1. 状況確認 出席を自動で管理し、親と先生のコミュニケーションをスムーズに。



先生への連絡入力・送信



机のICリーダーで出席確認

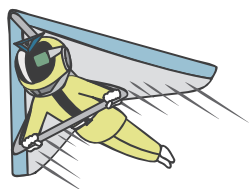


風邪気味のことを
伝えておくわ。

子どもの健康状態や心配事
などを先生に伝えることが
できます。



机に設置されたIC
リーダーで出席情報を
送信します。



子どもの状況は
私が見守るわ！

親と先生間の連絡



出席・生徒情報確認

出欠情報



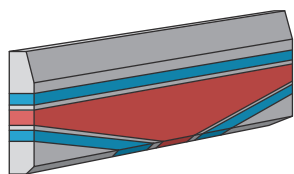
出席確認し、子どもの情報も確認できます。親からの連絡に返信も可能です。

2. 危険通知 危険場所にはICリーダーを設置。子どもの移動速度も感知します。

❗ 危険を音と通知で知らせる



子どもの接近を感知



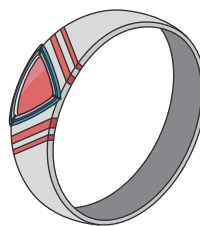
ICリーダーが設置されている場所に子どもが近づくと音で危険を知らせ、親には通知が届きます。



🚗 速度から危険を知らせる



GPSで速度を判断

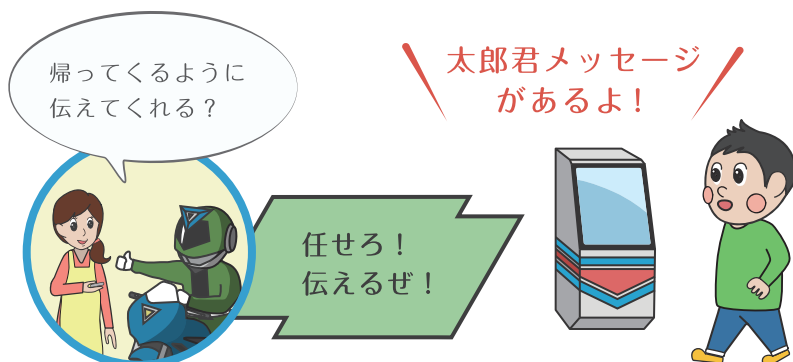


徒歩や自転車などの移動速度より速い場合、車に乗っていることが想定されるため、直ちに通知されます。



3. 連絡機能 学校や公園に専用のタブレットを設置。携帯なしでも連絡がとれます。

✉️📱 メッセージを登録



子どもに連絡を取りたいときは、メッセージを登録すると、通過の際に端末が呼びかけます。

📞 連絡する



かざすだけで、登録されている場所に電話できます(チャージ式・オートチャージ可)。

こんなこともできる！友だちを登録することで、子ども同士の交流が広がります。

友だちを呼ぶ

Aちゃんも
遊びにおいでよ！



学校や公園から友だちを呼ぶことができます。

友だちの場所を知る

○△□公園に
B君がいるわよ！



僕も遊びに
行ってくる！

友だちの場所を見ることができます。

※居場所を知ることができるのは、専用タブレットにICタグをかざした友だちのみ。GPSによる居場所の検索は不可。

6

メリット

先生と親の平和を守る！

子どもを危険に近づけない！

携帯を持たせずに子どもを見守れる！

7

今後の展望

子どもの見守りが世界中どこに行っても可能に

今後、DELTA GUARD を読み取る IC リーダーが、あらゆる公共施設やレジャー施設に設置されれば、子どもの遠方への外出や遠足も見守ることができます。例えば、子どもだけで出かける際、設置場所の通過や危険な場所への接近などの通知を受け取ることができ、社会全体に子どもを守るシステムを作り出すことができます。